

《 高校生・世界の架け橋養成事業 》

「2020年 済州国際青少年フォーラム（オンライン）」 応募要領

この度、北海道と友好協力協定を締結した（2016年1月）大韓民国・済州特別自治道から、未来のグローバルリーダーとなる青少年のネットワークづくりを目的とした「2020年 済州国際青少年フォーラム（オンライン）」への参加案内がありました。なお、世界各国で影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染等の状況を鑑み、今年度はオンライン開催となります。

（公社）北海道国際交流・協力総合センターでは、北海道庁から協力依頼を受け標記フォーラムに係る事業の運営等を行うこととなりましたので、下記のとおり参加を希望される高校生を募集いたします。

記

1 主催

大韓民国・済州特別自治道



2 事務局

（公社）北海道国際交流・協力総合センター
（以下「HIECC（ミック）」という。）



3 開催概要

別添「2020年済州国際青少年フォーラム（オンライン）開催要領」のとおり

4 事業内容等（予定）

内容	日程	内容	備考
面接	9月9日または10日	面接（英語審査含む）	オンライン
事前研修①	10月	ディスカッション練習、文化交流の準備	原則オンライン
事前研修②	11月	ディスカッションの練習、文化交流の準備	原則オンライン
済州国際青少年フォーラム（オンライン）	11月27日（金）	開会式、基調演説、パネル準備（チーム別）	原則オンライン
	11月28日（土）	パネルディスカッション、パネルディスカッションの発表準備	
	11月29日（日）	パネルディスカッションの結果発表、オンライン文化交流、閉会式	
事後研修①	12月	レポート提出	原則オンライン
事後研修②	1月	報告会準備（発表資料作成等）	原則オンライン
事後研修③	2月	報告会準備（リハーサル等）	原則オンライン
報告会	3月	報告会	実施形態検討中

※ パネルディスカッションでは、テーマ毎にグループに分かれグループディスカッション等を行います（テーマは参加決定後にお知らせします）。また、各参加者がそれぞれの地域の文化紹介を行い、参加国・地域間の友好交流を図ります。

※ フォーラムは全日程、英語を公用語として実施されます。

5 応募資格

参加者は、下記条件を全て満たす方とします。

(1) 2020年11月現在、道内の高等学校に在籍する方

(2) 他国・地域の参加生徒との交流及びコミュニケーションを積極的に図る意欲が高く、協調性

がある方

- (3) 英検 2 級又は同等以上の英語能力を有していると認められ英語でディスカッションができる方
- (4) オンラインで参加する環境（パソコンやタブレット等の装備やインターネット環境など）のある方
- (5) 事前・事後の研修会やフォーラム当日、また報告会など、全てのプログラムに参加できる方

6 募集人数

最大 4 名

7 応募方法

応募者は、必要な提出書類の全てを記入し、通学する高等学校の担当教諭へ提出して下さい。担当教諭は、提出された書類の記載事項をご確認のうえ、提出期限までに次の宛先までに送付してください。

8 提出（送付）先

〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 道庁別館 12 階

（公社）北海道国際交流・協力総合センター／交流共生部

※ 封筒に「2020 年 済州国際青少年フォーラム・応募書類」と記載して下さい。

9 提出書類（HIECC のホームページ〈www.hiecc.or.jp〉で様式をダウンロードできます）

- (1) 応募願書（様式チ 1、応募者が記入）
- (2) 保護者の承認書（様式チ 2、保護者が記入）
- (3) 学校長の推薦書（様式チ 3、学校長が記入）

10 提出期限

令和 2 年 9 月 8 日（火）（必着）

11 審査方法及び日程

- (1) 書類審査～ 応募書類により審査を行います。
- (2) 面接審査（人物及び英語能力等の審査）～ オンラインにて面接審査を行います。
日時等の詳細については、学校経由で別途連絡します。
◆ 面接予定日：令和 2 年 9 月 9 日（水）または 10 日（木） ※ 但し、変更になることがあります。
- (3) 参加者の決定
上記(1)及び(2)の結果を総合的に評価し、参加者を決定します。また、応募者多数の場合は、書類審査のみにて 1 次判定を行う場合があります。
9 月 14 日以降に、高等学校を経由して結果をお知らせいたします。
※ 選考結果に関する問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

12 その他

- (1) 参加が決定した場合、別添開催要領にある 4 つのテーマから一つを選択し、英文エッセイの作成があります。
- (2) 道内の新型コロナウイルス感染等の状況を見極め、対面での事前・事後研修の実施や、フォーラム（オンライン）への参加をする可能性があります。

13 問合せ先

（公社）北海道国際交流・協力総合センター 交流共生部（担当：小田島・松居）

所 在：〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 道庁別館 12 階

T E L：011-221-7840 F A X：011-221-7845

Eメール：exch@hiecc.or.jp

HIECC ホームページ：http://www.hiecc.or.jp

